

取組の三本柱 ~関係閣僚会合決定(平成19年2月23日)~

① 木材利用を通じ適切な森林整備を推進する緑豊かな循環型社会の構築

② 森林を支える生き生きとした担い手・地域づくり

③ 都市住民、企業等森林づくりへの幅広い参画

これまでの取組状況

◎不在村森林所有者への呼びかけ

- ・不在村者の所在の確定と、ふるさと森林会議への参加要請(全国27か所)
- ・司法書士団体との連携(全国19,000会員対象)

◎民間企業に対する協力の呼びかけ

- ・全国推進会議のHPを活用した情報提供
- ・CSR活動を掘り起こす企業訪問(個別50社)

◎農山村地域での運動の展開

- ・団塊世代の森林所有者への施業研修会の開催(現在11道県)
- ・施業意欲が低下した森林所有者への働きかけ(現在全国で135グループが実施)
- ・農業新聞を活用した呼びかけ(10月16日)

◎森林ボランティア活動の呼びかけ NPOとの連携強化

- ・ボランティア活動の参加を呼びかけるパンフレットの配布
- ・国土緑化推進機構のHPを通じた情報提供

◎木材利用活動の展開

- ・木づかい月間(10月)を中心に運動を展開
- ・企業向けシンポジウム等を開催(全国6か所)
- ・間伐材の利用拡大に向けた取組を推進(シンポジウム、間伐・間伐材利用コンクール)

◎国有林における取組

- ・全国子どもサミット等、各種イベント等の機会を通じた運動のPR(延べ5万人以上が参加)
- ・会議等の機会を通じた運動のPR(40回)

◎広報・イベントの展開

- ・「美しい森林づくりニュース」発行(10万部を突破)
- ・各種メディア等で特集(aff、林野、インターネットTV)
- ・「ふるさと食品全国フェア」など他部局との連携

◎省幹部による全国キャラバン

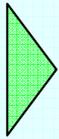
- ・都道府県が主催する植樹祭等への参加(8県)
- ・地方推進組織設立行事への参加(澤政務官[栃木]10月16日等)
- ・全国育樹祭関連意見交換会の開催(若林大臣[熊本]11月3日、4日)



推進体制

美しい森林づくり全国推進会議

- 代表: 出井伸之(クオインタムリーブ株式会社代表取締役)
- 構成団体: (社)経団連、(社)日本医師会など49団体



都道府県単位の推進組織

- 各都道府県の産業界、環境団体、教育団体、NPO等各界の団体により構成

今後の展開方向

◎民間主導の推進組織の連携強化

- ・地方推進組織を年内に30道府県で設立(予定)
- ・地方推進組織の全国協議会の開催等ネットワーク化の推進
- ・各推進組織への参加者の拡大

◎森林所有者への働きかけ

- ・施業意欲が低下した森林所有者への働きかけ
- ・不在村森林所有者を対象とした「ふるさと森林会議」の開催

◎幅広い国民、企業等への参画要請

- ・国民対話「若林大臣と語る希望と安心の国づくり」の開催
- ・農林水産省における資源・環境施策に関する説明会の開催
- ・業界団体及び個別企業への戸別訪問による協力要請の強化

等を通じて、具体的な森林整備の成果につなげていく。